

Libraree

立春が過ぎても、まだまだ寒い日が続く富士山麓。降雪もまだまだ油断できませんね。世間では予防が話題になっていますが、その一策として家の中で読書するのはいかがですか？暖かい部屋で、寒いであろう外の景色を見ながら本を読む、冬ならではの過ごし方です。2020年本屋大賞のノミネート作品も10作発表されました。吉高図書館ではコーナーを設置していますので、書店員になったつもりで、自分なりの本屋大賞を選んでみましょう。発表は4月7日(火)です。

吉高の100冊2020
表紙絵募集中
詳しくは図書委員まで

チョコの本
ありますよ♪

多読賞2019

令和初の多読賞が決定しました！

- 1位 2-4 白幡真佑さん
2位 3-5 宮澤一弘くん 3位 1-5 菊地 蘭さん
4位 3-3 奥田桜彩さん 5位 1-3 西川 舞さん 6位 2-5 太田千駿くん
7位 2-5 天野幸哉くん 8位 1-6 郷田一心くん 8位 3-4 佐藤恆存くん
9位 1-5 中村明日香さん 9位 2-7 星野このみさん



以上の皆さんに賞品を差し上げます。
来年度もたくさんのお本を読んで、心のビタミン蓄えましょう。

Libraree Report

全国高校ビブリオバトル決勝大会

令和2年1月26日(日)読売新聞本社よみうり大手町ホールにて、第6回全国高等学校ビブリオバトル決勝大会が行われました。47都道府県52校が参加し、まさに”本の甲子園”。山梨県代表として、吉田高校2年2組長田優衣さんが出場しました。予選は8グループに分かれて行い、それぞれチャンプ本に選ばれた8名が決勝進出です。長田さんは予選①グループ7名と対戦。小説が多いなかで、『ズルい言葉』というエッセイを紹介する新鮮さで善戦しましたが、惜しくも決勝進出ならず。

予選後は、作家の辻村深月さんと岡崎琢磨さん、降田天の共同ペンネームの萩野瑛さん、鮎川颯さんがトークセッション。こちらも盛り上がりました。決勝では、8名によるハイレベルなバトルが繰り広げられ、チャンプ本は埼玉県代表・春日部女子高校・印南舞さんの『デフ・ヴォイス』丸山正樹著が選ばれました。決勝に残った8冊の本は吉高図書館でも購入予定です。お楽しみに♪



Continue to the back

New Arrival Books

芥川賞・直木賞受賞作&本屋大賞候補作

■背高泡立草 古川 真人 集英社

芥川賞



□熱源 【本屋大賞候補】 川越 宗一 文藝春秋

直木賞



■ムゲンのi 上下 知念 実希人 双葉社

本屋大賞候補



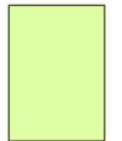
□線は、僕を描く 砥上 裕将 講談社

本屋大賞候補



■ノースライト 横山 秀夫 新潮社

本屋大賞候補



□店長がバカすぎて 早見 和真 角川春樹事務所

本屋大賞候補



■medium 霊媒探偵城塚翡翠 相沢 沙呼 講談社

本屋大賞候補



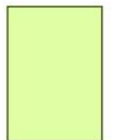
□夏物語 川上 未映子 文藝春秋

本屋大賞候補



■流浪の月 凧良 ゆう 東京創元社

本屋大賞候補



□心の傷を癒すということ 新增補版 安 克昌 作品社

ドラマ原案

